

平成25年度「使える英語プロジェクト事業」公開授業及び研究協議会の報告書

市町村名 大東市

実践研究校名 泉小学校

【公開授業】公開日：平成26年1月22日

住道中学校、住道南小学校と合同開催

対象学年： 5年生

(教材・教科書名) Hi, friends! Lesson9 (单元名) What would you like? 「南京町で食べ歩きをしよう」	(本時の指導の目標) ほしいものを丁寧に尋ねながら、友だちと楽しく交流ができる。
--	---

(本時の授業において工夫した点)

- ・秋の南京町での遠足の場面を再現した。
- ・既習の表現も自然に活用できるように、場の設定を工夫した。

(授業を終えた教員の感想)

- ・じゃんけんを楽しんだことで、英語でのやりとりが思ったより少なくなった。
- ・買い物を何度も繰り返したので、買い物の場面での表現が定着してきた。
- ・授業の進行や指示の時のクラスルームイングリッシュの活用が少なかった。

【研究協議会】

(テーマ) コミュニケーションの喜びが実感できる授業をめざして	(指導・助言者) 大阪府教育センター 教育課程開発部長 蛭田 勲 先生
------------------------------------	--

(研究協議会で出された意見)

- ・授業の途中で、本時のねらいについて振り返る場面をもつ。
- ・振り返りシートは授業のはじめに渡しておく（ねらいをしっかりと確認できる）。
- ・子どもたちは楽しんで活動できていた。

(まとめ)

1. 目標と評価規準を明確にすること、
指導と評価の一体化を行うこと、
形成的評価と肯定的評価を効果的に行うこと、
4技能＋考える力を身につけさせる授業を工夫することが大切である。

2. 子どもにつけたい力をイメージできているか。そのイメージの具現化に向けた授業づくりになっているか。
3. 思考場面が設定され、知的負荷がかかっているか。
4. 振り返りシートの活用について。
 - できれば授業のはじめに配布。
 - 感想だけでなく、本時のねらいに対する達成度を評価。授業の中で「分かったこと」「気づいたこと」等の認知面を言語化させる。
 - 情意面に関わる表現は「関心・意欲」として評価。
 - 振り返りシートは、すなわち授業評価でもある。
5. デモンストレーションの意義について。
 - 到達目標を確認するためにも重要な時間。
6. 「ほめる」と「ねぎらう」ことの違いについて。